

経済指標ウォッチャー

米国CPI 9月は再び上昇 インフレ警戒は続く

供給制約の解消に目途が立たないなか、ガソリン価格や食品価格が高騰

消費者物価指数 (CPI) とは？

CPIとは消費者が実際に購入する段階の、輸送・食品・医療などの消費財やサービスの価格（物価）の変動を表す指数。CPIの項目、構成比、算出方法には国ごとに違いがある。米国では労働省が毎月中旬ごろに公表する。物価変動の基調をみるために価格変動の大きい項目を除いたコアCPIが重視されることが多い。米国ではCPIからエネルギーと食品を除いて、コアCPIが算出される。（参考：日本ではCPIから食品を除いてコアCPIが算出される）

9月のCPIは前年同月比5.4%上昇

米労働省が13日に公表した9月のCPIは、前年同月比+5.4%と市場予想を小幅に上回りました。5.0%以上の伸びが5カ月連続するのは1990年代初め以来で、高水準が続いています。一方、変動の大きいエネルギーと食品を除いたコアCPIは市場予想をやや下回り、8月と同様、同+4.0%となりました(図表1)。

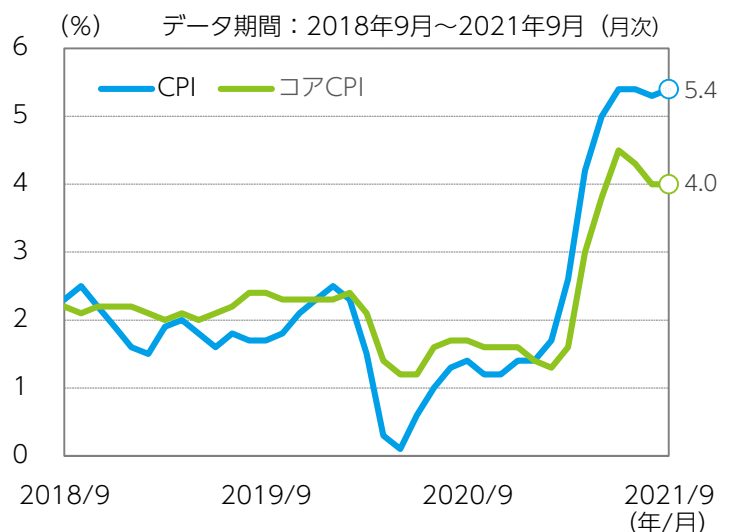
経済活動の再開にともなう物価の急騰は徐々に緩和されつつあるとの見方はあるものの、ガソリンを中心としたエネルギー価格の上昇が続いていることに加え、原材料や在庫の不足、人材不足などによる供給制約などが、CPIの上昇要因となったとみられます。

物価への上昇圧力は当面継続か

品目別では、引き続きガソリン価格（同+42.1%）の上昇が目立ちます。また、足元では、牛肉や豚肉などを中心とした家庭用食品や外食価格に上昇傾向がみられます（図表2）。ガソリン価格や食品価格の高騰の影響は、家計に直結することから、さらなる高騰が続くこととなれば、家計の消費が抑制され、正常化に向かう米国経済の回復が滞ることも懸念されます。バイデン政権は価格高騰を受け、石油・ガス業界において価格への不正行為がないか市場調査を始めたほか、食肉業界についても違法な価格操作がないか調査を進めているようです。

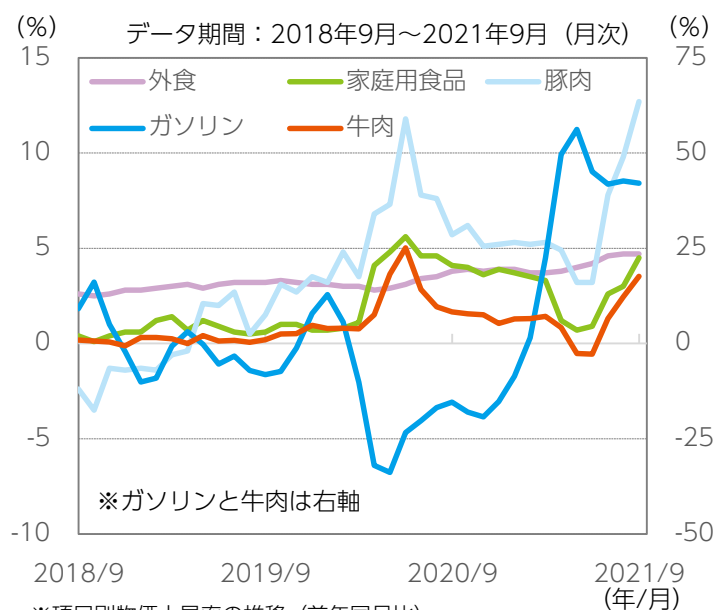
人手・原材料不足といった供給制約の解消にも目途が立たないなか、ガソリン価格や食品価格などを中心に物価への上昇圧力は当面続くものとみられます。

図表1：9月のCPIは小幅に上昇



※米国のCPIとコアCPIの推移 (前年同月比)

図表2：牛肉や豚肉などの家庭用食品の上昇が目立つ



※項目別物価上昇率の推移 (前年同月比)

出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>